令和７年度

高森町一般会計補正予算（第５号）
概要書

熊本阿蘇『野の花と風薫る郷』
高森町

国・県補助事業

令和7年度農山漁村振興交付金（中山間地農業推進対策）

●令和7年度農山漁村振興交付金（追加）を活用し、野尻地区の地域団体への補助を行う。

【現状と課題、事業の目的】

高森町野尻地域では、人口減少に加え、農業の担い手不足や高齢化が顕著であり、地域の活性化を図る拠点及び団体の存在が必要である。

【対策、事業内容】

専門業者によるサイト最適化や魅力的な商品ページ作成をし、ドライフラワーの販売強化に向けて効果的なプロモーションを行うために本補助事業の追加要望を行い、内報を受けている。

尚、本補助事業は、令和5年度から令和7年度までの3か年において継続事業である。（地域団体　ＮＯＫａＴｓ）

【事業費】

①追加内報額500,000円（決定済額5,028,000円）

②全額国費

事業費	補助額	町負担分
50万円	50万円	0円

予算書P21

単独・その他事業

庁舎等改修設計業務委託料

●庁舎の防災機能の強化と有効な空間活用を両立するための、庁舎等の改修設計を実施する。

【現状と課題、事業の目的】
　建築後４０年以上を経過する庁舎の改修に伴い、防災機能の強化と庁舎の有効活用を両立させ、災害時には防災対策本部の拠点機能と避難者受け入れスペースを確保するとともに、平時には講演会・発表会等の多様な町民・職務用途へ開放すること等に併せて、議場システムのデジタル化を進め、議会と行政の機能性と町民サービスの向上を図ります。

【事業内容】
・役場庁舎改修設計（改修設計、外壁等調査、アスベスト分析調査）
・電気設備改修設計（キュービクル等、議場デジタル化）

【事業費】14, 898, 000円

事業費	一般財源
1,490万円	1,490万円

予算書P16

「ふるさと応援基金」活用事業

学校教職員用スマートフォン購入事業

●学校教職員にスマートフォンを購入します

【購入内容】
・スマートフォン65台（中央小20台、高森中21台、東学園24台）
　アンドロイド端末、フィルム、ケース、充電器など
・スタンド33台（学級数分中央小12台、高森中9台、東学園12台）

【目的】
・生徒用写真・動画の記録（他地域で教員盗撮事件等が発生しており、個人スマホを利用制限　⇒早急に環境構築が必要）
・スタンドを設置することで書画カメラを代用
（書画カメラの更新は行わない）
・アンドロイド端末　⇒タブレットや電子黒板との連携ができ、授業の充実に繋がる。また、アカウント管理も容易
・学校本務の教職員に所持させることで、緊急時の連絡や日常の情報連携を円滑化
・原則校内Wi-Fi利用を想定し、Wi-Fiが届かない場合はポケットWi-Fiを活用（ランニングコスト不要）

事業費	ふるさと応援寄付金	町負担
233万円	233万円	0円

予算書P25

「エンタメ基金」活用事業

エンタメリンケージ事業負担金

●エンタメ業界と連携したまちづくりを目指すため、高森町指定無形民俗文化財の風鎮太鼓に対し負担をする。

【事業の目的】
　風鎮太鼓については従来からオクロック熊本歌劇団の現役団員が講師を務めており、高森町指定無形民俗文化財の保存に一役を担っている。エンタメ業界との連携の継続と、文化財の保存を目的とする。

【補正事業内容】
　・風鎮太鼓負担金　2,000,000円
　※（当初予算事業内容）
　　・熊本マンガアーツ町民招待、町PR広告、
　　町内タペストリー制作

【その他】
　風鎮太鼓のお披露目の場として２月の新酒祭りを予定。

当初予算額	補正予算費	エンタメ基金	一般財源
212万円	200万円	412万円	0円

予算書P14

「南鉄復興応援基金」活用事業

ふるさと応援熊本地震創造的復興事業負担金

●熊本地震から10年の節目に高森駅のライトアップを行います。

【事業の目的】

令和８年４月で熊本地震の発生から１０年を迎えます。そこで、町では、熊本地震からの創造的復興のシンボルである南阿蘇鉄道高森駅のイルミネーション装飾・ライトアップを行い、期間中の週末には、駅前広場を活用したイベントを実施します。これまで復興にご協力頂いた町民を含む皆さんへの感謝を表現し、南阿蘇鉄道の今後の継続的な運営を目指していきます。

※南阿蘇村においても同様のイベントを実施予定

【事業内容】　①点灯式（令和８年４月１日予定）
②高森駅のライトアップ（４月１日からゴールデンウィークまで）

【事 業 費】　5,000,000円

事業費	南鉄復興応援基金	一般財源
500万円	500万円	0円

予算書P24